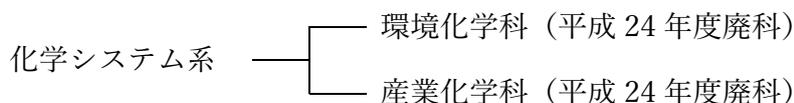


化学システム系（環境化学科及び産業化学科）の教育訓練目標

化学システム系の構成



化学分野に求められる人材像

産業界における、新素材関係、生物化学関係及び環境問題等の分野において活躍できるよう、基礎的・化学知識のみならず化学の応用に関する知識と各種化学実験及び測定による技術の習得により、将来環境問題にも対応しうる化学の技能・技術を持った人材が求められる。

(1) 環境化学科の教育訓練目標

環境化学科は、化学の基本的な知識と技術を基礎とし、大気・水質・土壌などの環境測定技術や環境保全技術を習得する。また、廃棄物・リサイクル問題、地球的規模の環境問題をも含む幅広い環境技術を学ぶ。これらの知識と技術を総合制作実習へ発展させることにより、環境に配慮したものづくり産業や、循環型社会を形成するにあたり今後重要な役割を担うと考えられる循環資源の再生技術・インバースマニファクチャリング（逆工場）技術にも対応できる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。

(2) 産業化学科の教育訓練目標

化学技術のめざましい進歩の結果、多種多様な素材が提供されることとなった。そして、製造工程ではこれらの素材を、目的に応じて、さらに複雑に組み合わせて、有用な製品として提供しており、製造工程で使用される化学薬品も多岐にわたっている。また、リサイクル技術、環境保全技術の面からも化学の技術と知識が要求されている。

産業化学科では、ものづくりとそれに関連する諸問題を化学の面から支援するため、化学の知識、技術に加えて、工業的に有用なプロセス技術等を習得し、産業界で幅広く活躍できる実践技能者の育成を教育訓練目標とする。